

環境振動運営委員会 2020年度第4回議事録（案）

A. 日 時 2020年12月11日 金曜日 17:30～19:30

B. 場 所 Microsoft Teams によるリモート会議

C. 出席者 松本主査他、19名

D. 提出資料（提出委員名）

【4-01】20201013AIJ 環境振動運営委員会議事録案_20201015.docx

【4-02-1】2020年度第3回環境工学委員会メモ_20201111.docx

【4-02】201111_環境工学本委員会（第3回）資料.pdf

【4-03-1】測定分析小委員会(第4回)報告 20201211.docx

【4-03-2】性能評価小委員会+WG 活動報告 20201211.docx

【4-03-3】予測情報小委-第2回活動報告.pdf

【4-03-9-1】第4回道路交通振動の加振力検討 WG 議事録_HP 用.docx

【4-03-9-2】第5回道路交通振動の加振力検討 WG_報告.docx

E. 議事内容

O. 前回議事録確認（資料 No.4-01）

- ・運営委員会のハイブリッド開催はこの状況では難しいと判断し、今回は Teams のみでの開催とした。
- ・段落番号の誤りを修正。
- ・成瀬先生が亡くなられた。ご親族の意向を尊重し、運営委員会としての動きはとらない。
- ・議事録は修正の上で承認された。

1. 環境工学委員会（本委員会）報告（資料 No.4-02-1～4-02）

- ・小委員会成果報告は 2/15 締切。
- ・調査研究委員会に関するコメントがあったが、全体的によい評価であった。
- ・対象については安岡先生 1 名が推薦された。音、振動、光、電磁、心理・生理から共同の推薦。
- ・文化賞については会員以外が対象。候補者を出して欲しい。
- ・論文集委員会委員を振動からも出す。 → 運営委員会メンバーから
- ・AIJES 刊行方針検討 WG には全運営委員会から 1 名は参加すること。
- ・予算配分については環境振動運営委員会は昨年度比 +1,000 円
- ・小委員会・WG の廃止・設置申請については内容を確認した。

2. 各小委員会・WG 活動報告

2-1. 環境振動測定分析小委員会活動報告（資料 No.4-03-1）

- ・11/30 に第 2 回を Web 会議にて実施。
- ・今季と来季の具体的活動について議論した。
 - 新しい測定は無理
 - 過去の測定データを最新評価基準で再評価する
 - 委員による事例紹介は水平振動についても行っていく
- ・「建築物における環境振動測定・分析に関する資料」の OPEN 化（一般公開）について、事務局に手続を確認した。

【質問】測定結果で感応評価を行ったものはあるか？ → 何例か（中央線沿線、など）ある

2-2. 環境振動性能評価小委員会活動報告（資料 No.4-03-2）

- ・来年度の小委員会メンバーは、益田さんがオブザーバーに回り、1名公募予定。
- ・WGは今のメンバー中心に検討し、必要に応じて公募する。
- ・今年度大会投稿梗概の内容紹介とそれに関する議論で新しい知見を深めた。

※ メンバーを公募する委員会・WG名を運営委員会で集約し1/20までに事務局に届ける必要がある。今回の運営委員会での申し出を集約して報告する。

2-3. 環境振動予測情報小委員会活動報告（資料 No.4-03-3）

- ・3名が宿題（各委員が予測に関する課題を設定し、それに対するアプローチについて報告する）報告を行った。

数値積分法比較

解析モデルの要素のオフセット、分割数による結果比較

簡易予測モデルと実測の比較

- ・1スパンモデルの解析について、実験結果との比較を行い議論した。

※ 興味深い内容でありより詳しい話を伺いたい

2-4. 環境振動設計指針策定小委員会活動報告（資料 No.2-03-4）

- ・査読委員6名を決定。10/29に査読依頼し、11/末に結果を回収。（井上先生から未回収だが国松さんから提出されたので6名による査読は変わらず）

2-5. 設計の手引き作成小委員会（資料無し）

- ・講習会を実施した。
- ・講習会の質問への回答を作成していく。
- ・主査は原田さんに交代する。
- ・出版した「手引き」の使われ方を見て、検討していく。

2-6. 環境振動シンポジウム企画検討WG（資料なし）

- ・開催なし。
- ・来年度のシンポジウムに向けて検討していく

2-7. 広報WG（資料なし）

- ・各小委員会の議事録をホームページにアップしている。
- ・ホームページにアップされていない開催日の議事録を送って欲しい。

2-8. 環境振動統合モニタリングWG（資料なし）

- ・次年度から動かす。
- ・設計法と計測を統合するようなことを考える。
- ・若い人を集めて進めていく予定。

2-9. 戸建て住宅の振動特性WG（資料なし）

- ・戸建てのモデル化を考え、建物内部の振動を予測する。

- ・固有振動数と減衰のデータを集めていきたい。
- ・減衰の求め方と事例を資料化するつもり。

2-10. 道路交通振動の加振力検討WG（資料なし）

- ・話題提供：土木分野における車両走行による環境振動の予測（松本先生）

環境アセスメントにおける振動予測

道路橋に対する振動予測

鉄道橋に対する振動予測

地盤環境振動の予測

- ・若い人がいない。
- ・金沢大の先生に参加を打診する。
- ・予測と計測の結果が「ぴったり合う」ことを目標としているが、「ぴったり」の目安は3~6dB程度の差か。
- ・実験サイトを探して実験を行う。
- ・次回、金沢大の先生に話題提供をお願いする。

2-11. Special WG（資料なし）

- ・時期を見て、対面での会議実施を計画する。
- ・今ある絵を元に議論する。

※オンラインでの議論も可能なので、オンラインで実施することとした

3. 来年度の大会（東海）案について

- ・9/7~9/10開催は決定。
- ・学術推進委員会で議論している。1月の理事会で決定する予定。
- ・参加費との関係もあり、対面とオンデマンドのハイブリッド開催は費用がかかり、難しい。
- ・学術講演と建築デザインはオンデマンドで行う方向。質問をどうするか、若手賞をどうするか課題。
- ・研究集会についてはハイブリッド開催を考えている。

4. 今後の委員会開催について

第5回 2021年1月26日（火）17:30~

以上